

ベルリン

日本人学校



ベルリンのクリスマスマーケット



Japanische Internationale Schule zu Berlin e.V.

URL <https://www.jap-schule-berlin.de>

児童生徒数 小=14人 中=5人

ドイツは、中央ヨーロッパ西部に位置する十六の州からなる人口約八四〇〇万人の連邦共和制国家である。南はスイスとオーストリア、北はデンマーク、西はフランスとオランダとベルギーとルクセンブルク、東はポーランドとチェコにそれぞれ国境を接している。

首都はベルリンで、人口約三六〇万人、一九〇方国を超える海外出身者も暮らす国際都市である。自然も豊かで、三分の一が森林、公園、河川や湖で構成されている。

現在ベルリンには、四〇〇〇人近い日本人が生活している。本校に通学していない日本人の子どもたちは、現地校やインターナショナルスクールに通っている。そうした子どもたちの多くは、市内にある二つの補習授業校（ベルリン日本語補習授業校、

ベルリンの様子



校舎全景



ベルリンマラソン ブランデンブルク門を背景に

が不足する状況となっている。

きめ細やかな教育活動

本校は一九九三年に開校し、二〇二三年に三十年目を迎えた。校舎は当初ヴァンゼー駅近くにあったが、〇四年に現地の公立小学校コンラート校の一部を借りて移転した。しかし前述のように教室数が不足しているため、教室を現地校に返して、二三年度は校舎を移転する予定である。

本校では子どもたちがグローバルな社会で活躍できるように、小・中学生の段階から外国語でのコミュニケーションに慣れ親しむことが大切と考え、現地採用の外国人講師による英会話とドイツ語の授業（レベル別クラス）をとり入れた特別な教育課程を編成している。学習の成果は、現地校との授業交流や学校祭でのドイツ語劇やドイ

ベルリン中央学園補習授業校)のいずれかに通い、日本語による授業を受けている。

ドイツは多くの難民を受け入れているが、ロシアによるウクライナへの侵攻などにより就学年齢の児童生徒も急激に増加して現地校の教室



校舎の前に集まって



ドイツの子どもたちと
合唱練習



ドイツ語



夏季学校カヌー体験



スケート教室



中学部合同
プログラミング教育

ツ語による合唱、さらにはドイツ語での司会などで発揮される。

校舎の一部を使わせていただいているコンラート校とは、地の利を生かした交流を積極的に進めている。休み時間はコンラート校の校庭で遊んでいるため、自然に国際交流する姿が見られる。また合同で合唱練習を行っている、その成果を学校祭で発表している。さらに小学部ではコンラート校そして中学部ではドライリンデン校との授業交流を実施している。両校との交流は、国際交流の貴重な場になっていくとともに、語学学習をとり入れた実践の場となっている。

また本校の特色ある教育活動として、自然が豊富なベルリンのヴァンゼー湖畔にある宿泊施設や湖を活用し全校児童生徒で寝食を共にする夏季学校、持久走の成果を発表する場としてベルリンマラソンへの参加、世界最高峰の交響楽団の一つであるベルリ

ン・フィルハーモニー管弦楽団のゲネプロ見学会、ベルリン国立歌劇場でオペラワークショップ、クリスマスマーケット体験など、現地の行事に可能なかぎり参加している。

校内では少人数の特色を生かし、行事から縦割り昼食や清掃などの日常活動まで全員参加で取り組むなかで「誰もが主役」を体験する。異学年が交流するような活動を通して、中学生が小学生を助ける家族的な雰囲気や「自分がやらねば」という使命感や主体性と「みんなで協力しな」と何事もなし得ない」という協調性が育まれる。

学習面では、マンツーマン学習や少人数学習、またスピーチ朝会など皆の前で発表する機会や仲間と絆を深め助け合って課題を解決する学習などでも、きめ細やかな指導に努めている。

本校では現地校に通っている児童生徒のために体験入学を受け入れ、本校の魅力積極的に発信している。体験入学した児童生徒のなかには、温かい学習環境のなかで学びたいと本校に入学する児童生徒も見られる。

恵まれた教育環境のなか、本校の子どもたちはベルリンに住む多くの人々に支えられながら、日本とドイツのかけ橋となる国際人として成長している。これからも教職員が一丸となり、切磋琢磨しながら日々の教育活動の充実に努めていきたい。

(二〇二三年一月現在)

子どもたちから

人見知りだったけどみんなやさしいからすぐにうちつけられたよ。(小3)

学年が上の人も下の人もいっしょに遊べて楽しいよ。(小4)

少人数だけれど勉強に関する質問がしやすいです。 縦割りでの行動が楽しみです。 中2.